

会大衆党を絶対的に支持し、党の公認候補として五名立候補したる内、聯合会顧問松沢兼人、委員長永江一夫、組織部長丹羽繁三を推せんし、果敢な斗争の結果松沢、永江両君も当選せしめた。

全五月、メーデー斗争に就ては神戸地方メーデー協議会に参加し日本に於ける最初の海陸メーデーも挙行した。此の日神戸のメーデー労働者千名、我が聯合会は動員数に於ては他の陸上団体も壓して居り、戦斗的なる行動は新たなる足跡を残したと言ひ状、解散地に於て警官隊と乱斗を引き起して二名の負傷者を出した事件は我々の断じて承服し能はざる處である。

其の他同盟員並に市民層に於て個人的な人事向願感

は紛議の取リ扱数は八十六件に及んで居る。

工場に職場に、土木建築、港湾、自由労働者に、或は金属労働者に現在よりこの組織は拡大しつゝある。

併し乍ら我等は今全国労働者の神戸に於ける城砦として斗争してあるが神戸に於ける本組織労働者十萬の在ることを思ふ時、我等の組織率の如何に小さかをも深く反省し、過去の斗争を悉く批判して更に強力なる大衆的斗争の主動けたらしめねばならぬ。

以上

△本誌委員

全園労働者聯合会中央委員